

## 2025年9月度のボーイスカウト福岡第14団の報告について

### 1 カブ隊

○ 日時：9月14日（日）～15日（月・祝） 鹿家公民館

活動内容：くま（小学5年生）キャンプ

活動目的：様々な体験を通して学ぶ

今年、はじめて「くまキャンプ」を鹿家公民館で行いました。参加者はくまスカウトと隊長、副長のみで、他のスカウト達や、保護者もいません。1泊2日のキャンプをくまスカウト達だけで過ごします。これはボーイ隊に上進するための大切な活動です。

朝、深江のマルキョウで、準備集会で考えた夕食のメニューの買い出しをします。JRで鹿家駅へ移動。切符も自分たちで買い、電車に乘ります。荷物も自分で運びます1泊2日の活動内容は、国旗掲揚の練習にはじまり、秘密基地作り、大型テントはりの体験、夕食つくり、營火、寝袋で寝る、朝食の配膳、公民館の清掃です。

いつもは2つの組に分かれて競い合いますが、今回はお互い協力しあい、意見をまとめて活動します。そこで活動毎に班長を決めて迷ったときは班長に決定権を持たせました。

いつもは周りに流されてしまうスカウトも今回は自分の意見を言ってまとめました。





大型テント張りは初めての経験でした。興味を持って動く子、傍観者、すぐ休みたがる子と様々でしたが、片付けの時には言われなくても少し動けるようになってきました。

夕食の準備は日ごろの家でのお手伝いの成果がでて安心の調理実習でした。インストラクターを使わず出汁をとりとても美味しそうな肉団子のスープと野菜炒めできました。ごはんはアルミ缶炊飯をしました。



夜は焚火を囲んで将来の夢をそれぞれ語りました。あとはお楽しみのデザートタイムで、マシュマロを焼いてチョコソースをかけて大喜びでした



○ 日時：9月15日（月・祝） 鹿家公民館

活動内容：スカウトの日

活動目的：海岸清掃を行いゴミ問題について、自分ごととして考える

毎年9月15日はスカウトの日です。今年は鹿家公民館と近くの海岸清掃を行いました。地域の方々の清掃もあって、一見きれいな砂浜に見えましたが、スカウト達はどこに隠れゴミがあるかを知っており袋いっぱいのごみの回収ができました。



お昼ご飯の後は新チャレンジ章の「名勝博士」の発表です。夏休みを使って名勝地探しを宿題にしていました新チャレンジ賞はいつもの日本連盟が定めた40種類とは別に企業とのタイアップによるバッジのことです。

「名勝博士」は神奈川県の神山郷を訪れて美しさに触れる内容ですが、訪れなくても身近にある美しい場所をさがしたり、名勝地を調べたり、写真を撮って感想をかいたりして興味を促す内容でもあります。スカウト達は思い思い名勝地を調べて発表してくれました。



発表のあとは、ロープゲームです。2人一組になり、ロープを引き合うロープ相撲です。1つ特別なルールがあり、床の上でロープの輪を作ったら引っ張り合うゲームです。ロープをどう動かしたら輪になるのか？輪ができたら引き合います騙しあいの攻防戦が続きます体格の差はあまり勝敗には関係なかったようです。単純ですが、スカウト達は真剣に取り組んでいました。



## 2 ボーイ隊

- 日時：9月14日（日） 班集会 脇山野営場

脇山野営場で、テントの取扱い、通信法の訓練を実施参加しました。

- 日時：9月28日（日） 登山 宝満山

当時は、姪浜駅から地下鉄、西鉄電車、コミュニティバスを乗り継いで宝満山に登ります。スカウトたちは、集合後、お題として目的地を発表後に班長を中心に企画計画を立案し、各班で実施展開して姪浜駅の集合地点に帰って来るという集会となりました。



### 3 ビーバー隊

- 日時:9月7日（日）夜防災ボトル作り 於 波多江コミュニティセンター

ビーバー隊では、例年9月は防災の日・防災週間に合わせた活動を行っています。今年は近年初めての取組みとして、防災ボトル作りを企画しました。

導入として、スカウト達は隊長からの災害と防災にまつわる話や防災用品の説明をしっかりと聞きました。その後、防災用品を使った「キムスゲーム」に挑戦しました。これはテーブルの上にどんな物があったかを記憶を頼りに思い出すゲームですが、スカウト達は隊長の話を聞きながら防災用品の観察をしっかりとしていたので、見事全問正解できました。



防災用品は、いざという時に正しく使えるように、予め平時に使い心地などを確認して備えておくことがとても重要です。今回は、水に浸すと膨らむ「圧縮タオル」を実際に使ってみたり、一口ようかんの試食をしてみました。



次なる挑戦は、この日のメインの活動で、防災ボトルを実際に作ってみます。配付された防災用品をいざ 500mL のボトルに詰めますが、それがなかなか一筋縄ではいきません。スカウト達は試行錯誤しながら一生懸命に考えて、全員時間内に用品をボトルに詰め込むことができました。

最後に、地震や火事、風水害が起きた時にどのように対処するのかゲーム形式で学びました。



スカウティングとの関係でいえば、非常時と野外キャンプは、「いつもと違って不便」「限られた資源を有効に使う必要がある」という点で共通点があります。野外活動をとおしてサバイバルスキルを身に着けて万一の時にも慌てず落ち着いて対応できるよう、日頃からスカウトらしく「そなえよつねに」をモットーに生活してほしいと指導者として願います。